

# さらき

第289号

令和4年12月23日

発行:更木町振興協議会  
更木地区交流センター

TEL/FAX:0197-66-2569

saraki-kc@chime.ocn.ne.jp

http://www.saraki-kitakami.org



町内の動き(対前月比)

人口:1,008人 -3人

男 478人 -2人

女 530人 -1人

世帯数:413世帯 +1

## さらき光のファンタジー幻想的に開催

去る、12月17日(土)午後5時から更木地区交流センターで「さらき光のファンタジー」が開催されました。

最初に、大道芸人の「もんたくん」によるお笑い芸人のようなおもしろいトークでのジャグリングショーが行なわれ、来場者の皆さんからは大きな歓声があがっていました。ショーの後は、焼きたてのさつま芋を食べながら、建物周囲と駐車場に飾られた幻想的な夢あかりとイルミネーションを鑑賞し、最後はイルミネーションをバックに100発の花火を楽しみました。



もみ殻で焼いた甘～い焼き芋



今年も  
イルミネーションが  
きれいです

今年も更木地区交流センターにイルミネーションを点灯しました。夜間の冬道を明るく彩り、地域を元気にしようとして毎年行っております。

昨年より、きれいになっております。皆さんが少しでも明るい気持ちになれば幸いです。空に輝く星とイルミネーションの風景をお楽しみ下さい。

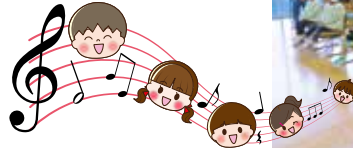


## 「音楽鑑賞会」を開催しました!!

去る、11月24日(木)更木地区交流センターにおいて幼児教室の一環として北上吹奏楽団の方々を迎えて「音楽鑑賞会」を開催しました。

更木幼稚園児と父兄、学童の子どもたちと一緒に「ドラえもん」「勇気100%」などを楽しく聴いておりました。

楽器の紹介を交えながらたくさんの曲を演奏していただき、楽しい時間を過ごすことができました。



## 永昌寺東堂 海野義清氏講演会を行いました

去る、11月26日(土)午前10時から更木地区交流センターにおいて32名の来場者で講演会が開催されました。講演は、海野氏が約60年前永昌寺に着任した頃のいきさつから現在に至るまでのエピソードを話されました。着任当時、お寺は住める状況ではなかったため、護持会の役員さん方にお願ひし生活出来る状態までにしてもらった事など当時の苦勞話が印象的でした。現在は住職から東堂(住職を隠居した和尚さん)として、義範住職さんを支えています。



## 令和4年度 地区対抗スポーツ大会終わる



今年度の地区対抗スポーツ大会は11月6日(日)に全種目が終了しました。今年も残念ながら合同運動会は開催できませんでしたが、熱い戦いが繰り広げられスポーツを通して親睦を深めることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

これからもスポーツを通じて体力の維持増進や親睦を図っていきたくと思います。

### 令和4年度地区対抗スポーツ大会総合成績表

開催日	競技	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区
6/12(日)	バドミントン	5位	3位	—	1位	5位	2位	3位
6/26(日)	ベタंक	7位	3位	2位	4位	6位	5位	1位
8/15(月)	野球	3位	2位	—	3位	5位	5位	1位
	ソフトテニス	1位	2位	5位	5位	5位	3位	3位
9/11(日)	ソフトボール	3位	棄権	—	4位	4位	1位	2位
10/29(土)	グラウンドゴルフ	3位	6位	5位	7位	2位	4位	1位
11/6(日)	ソフトバレーボール(フリーの部)	6位	2位	—	3位	4位	5位	1位
	ソフトバレーボール(50歳以上の部)	4位	3位	—	棄権	棄権	2位	1位
11/6(日)	卓球	5位	3位	—	3位	5位	2位	1位
総合順位		4位	3位	7位	5位	6位	2位	1位

## 特別表彰で第1位

第32回北上市民体育大会に8競技に参加し、人口割得点で順位が決まる特別表彰で3年ぶり2度目の第1位に輝きました。軟式野球とソフトバレーボールフリーの部では第2位と好成績を残しました。

参加していただいた皆様ありがとうございました。



## 男の★料理教室開催

### メニュー

- ・かつおの和風ドレッシング
- ・手作りソーセージ
- ・ガーリックチンポテト

日時/令和5年1月21日(土) 午前10時~正午

場所/更木地区交流センター 調理室

内容/お酒のおつまみ(試食予定)

定員/6名

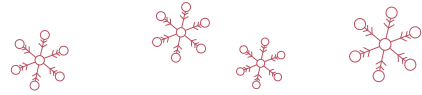
参加費/700円

持ち物/エプロン、三角巾、手拭きタオル  
マスク着用

申込み/1月13日(金)までに更木地区交流センターへ申し込みください。☎66-2569



# 福祉だより



## 民生委員改選

3年の任期改選により、12月から右記の方々が選任されました。任期は令和4年12月1日から令和7年11月30日です。よろしくお願いいたします。

前任者の菅孝志さん、遠藤京子さん、福地実栄さん、川村明美さん、長きにわたりご活躍いただきありがとうございました。

### 《民生委員紹介》

1区	小田島恭治さん(再任)
2区・3区	藤本 甚市さん(新任)
4区・6区	福盛田千枝子さん(新任)
5区	藤本 智子さん(新任)
7区	小原 文恵さん(新任)
主任児童委員	平野百合江さん(再任)

## ふれあい交流会

去る、12月6日(火)悠の湯風の季で、『ふれあい交流会』を開催しました。ケーキを食べてから温泉に入り、体も心もほっこりしていました。その後、会話と美味しいお食事を楽しみました。

今回は、民生委員の改選期と重なったことにより新旧の民生委員の方々に参加して頂き、皆さん親交を深めていました。

とても寒い日で、いつのまにか外は雪で真っ白になっていました。



## 福祉大会

去る、11月22日(火)に、さくらホールで北上市民福祉大会が開催されました。

更木地区からは、上組の川村晋運たかかずさんが多年にわたり家族介護にたずさわり、在宅介護に貢献したことで表彰されました。

おめでとうございます。



## 更木に伝わる伝説

### 「大日堂」

むかしむかしのことです。永昌寺の下に、樹重郎という人が住んでいました。ある夜、樹重郎は夢の中で、「明日の晩の子の刻、西方を見よ！」と、いうことばを聞きました。不思議なこともあるものだと思います。翌日は、夜も寝ないで待っていました。やがて子の刻近くになると、西の空が少しずつ明るくなってきたかと思っているうちに、その光は、昼をあざむく燦然とした光となりました。驚いた樹重郎は、目を凝らして見ていると、光は庭先の一点に吸い込まれるように集中して行くのがわかったので、その場所を掘り起こしてみることにしました。するとどうでしょう。深い土の中から、大そう立派な“仏像”が出てきたのです。翌朝、樹重郎は早速、部落の人たちを集めて、そのことを話したところ“部落の守護仏”として祀ることとしようということになり、部落民総出で社を建てて仏像を安置し、そのお堂に大日堂と名付けました。大日堂の境内に一本の檜がありました。何年か経った或る日、一人の木こりがこの日、檜を伐採しようとしてきました。半分ほど切りかけた時どこからか大きな蜂が一匹飛んできて、木こりの頭を刺しました。怒った木こりは、蜂を殺してやろうと追いかけて、その巣が大日堂の軒下にぶら下がっており木こりは、夜になるのを待って、蜂の巣を焼き払うことにしました。あたりが薄暗くなり、蜂の動きが鈍くなる頃を見計らって、木こりは、大日堂の軒先の大きな蜂の巣に火をつけました。火の勢いはよく蜂の巣を焼いたかと思うと、あっという間にお堂にまで燃え移り、堂宇も御本尊もろとも焼失してしまいました。その時、御本尊は、全体がぼんぼり提灯ほどの大きさの火の玉となり、ものすごい音を立て、西の空へと飛び去ってしまいました。火の玉と化した仏像は、そこから8キロほど離れた、北笹間の内野部落という所に落ちたと伝えられています。現在の大日堂は、明治十五年に再建されたものです。そして御本尊は、永昌寺から寄贈された薬師如来像です。このため、終戦当日までは、毎年お盆の十六日には、お寺から大日堂まで多くの灯籠が献灯されました。



## \* 更木くわ通信 vol.6 \*



こんにちは。地域おこし協力隊の高橋です。去る11月11日に、更木学童保育所の皆さんを対象とした繻細工体験会をさせていただきました。

地域の大人の方にサポートに入っただきながら、繻細工の花をあしらったフォトフレームを作るという内容。基本的な繻のお花の作り方をお伝えした後は、好きな色の繻とフォトフレームを選んで、自由に作っていただきました。フォトフレームの中には身近な人に日頃の感謝を伝えるメッセージカードを入れて、勤労感謝の日になんだプレゼントに。

繻に触れたことはあっても、繻細工は初めてという方がほとんど。慣れないカッターに四苦八苦する場面もありましたが、サポートの方々に優しく助けていただいて、思い思いの作品が完成しました。



## 1月のおもな行事予定



- 8日(日) 午後 1時 北上市20歳のつどい
- 12日(木) 午前 9時 世代間交流会
- 14日(土) 午前 9時 更木スキー教室
- 21日(土) 午前10時 男の料理教室
- 26日(木) 午後 2時 更木区長会議



## 除夜の鐘をつきましょう

大晦日(おおみそか)には、みんなで除夜の鐘をつきましょう。除夜の鐘は、もともとは108個の人間の煩惱を表し、その厄を払うためにつくものでした。今では、大晦日にその年を振り返り、新年を気持ちよく迎えるためにつかれるようになりました。みなさんも、新たな年を迎えるにあたり、除夜の鐘をつきましょう。

日時/12月31日の午後11時45分頃から始まります。

およそ午前2時まで行います。どなたでもお気軽にご来場ください。

場所/永昌寺境内にて

内容/除夜の鐘つき、元朝祈禱

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため温かい飲み物振舞はいたしませんのでご了承ください

協力/野沢地区無尽の会



## シリーズ Vol.8

## 更木の神社・仏閣の紹介

### 観音堂

(天王山臥牛寺)



当国33番の札所のうち22番目として天王山臥牛寺と称す、本尊は勢至観音木造等身の立像にして円満を表現する極めて精巧な彫刻である、大同2年(807年)慈覚大師の建立でこの本尊の彫刻は大師が一夜の作りと伝えられている。

初めの堂舎は島(花巻市東十二丁目)から来た野火の為災厄にあい棟札など焼失した。今の堂舎は再建したもので四間四面にして東面であるが何年の建立であるのか明らかではない。

昔の本尊は金銅の鑄像であったが、盗難に遭って行方不明となった。この他1尺5寸(約45cm)位の木造の観音像があったが故あって別当がこれを更木村の昇田がつきにやったので同家では今なお秘蔵としているとのことである。

門の左右に立っている仁王像は大正14年及川庄太郎と云う人の作である。

始め3年の計画で彫刻に着手したが1ヶ年を経て、顔の彫塑が出来たのみでそれを知った他の地の某と云う者がその工作の余にも遅々に詰め寄った。ところが芸術者の心理を解さないことに怒り、他の胴体四肢をわずか1ヶ月で竣工したと云うことである。

臥牛部落民の信仰極めて厚く旧暦6月1日には「おみきあげ」と称し臥牛部落民が参集し餅酒を供えて補陀楽御詠歌を唱えて冥福を祈ることを例としている。

## どんど焼き

新年の1月14日(土)永昌寺に於いて、どんど焼きをおこないます。

新年の門松やしめ縄、お守り、破魔矢などをお持ちください。どんど焼きでお焚き上げをして、新しい年のコロナ退散、無病息災を願いましょう!

期日/令和5年1月14日(土)

午前9時~正午ごろまで

場所/永昌寺 駐車場内

対象/門松、しめ縄、お守り、破魔矢、お札などの燃やせるもの

※プラスチックや金属類はあらかじめ外してお持ちください。

※家庭ごみ等は、持ち込まないでください。

